

介護リスクマネジメント 動画セミナー配信

お役に立ちます

介護・福祉の現場で積み上げた
実践的な事故防止手法を
あなたの職場にお伝えします



動画セミナーリストダウンロード

<http://tiny.cc/y9djxz>

Safe Care 株式会社 安全な介護
www.anzen-kaigo.com

施設でリスクマネジメントセミナーを視聴できる

現場で役立つ課題解決処方箋が満載のセミナー

弊社の動画セミナーは、主催者の手を煩わせず簡単に開催でき、参加者は施設（事業所）の会議室に集まるだけで会場に行かずに受講が可能です。

従来の臨場感あふれるセミナーを再現し、現場の取組事例を豊富にお伝えします。その上、従来通り「現場の取り組みで作成したお役立ちツール」を主催者に提供しますので、各施設（事業所）にご配布いただき、現場で活用いただけます。

参加する会員の皆さんにとっても、職員が会場まで足を運ぶことなく受講ができるため、職員全員に視聴させて情報共有の徹底を図ることも可能になります。

是非ともこの機会に弊社の動画セミナーの採用をご検討いただきたく、ご案内申し上げます。ご不明な点や疑問点はお気軽にお問合せ下さい。

動画セミナーってつまらないんじゃない？

弊社の動画セミナーはライブセミナー以上！

弊社のメイン講師山田滋は、介護現場の事故防止の取組を20年以上お手伝いしていますから、セミナーの内容は分かりやすく役に立つと好評です。

動画セミナーの特徴

- 1編30分～40分程度！短時間で集中して視聴できます。
- 現場で実践している講師だから、分かりやすくて親しみが持てます。
- 介護現場の知恵と工夫のツールを主催者を通じて提供します。
- 3ヶ月に1回内容を更新して、新しい取組や情報をお伝えします。
- 介助場面の動画も活用して目で理解できるようにします。
- 現場で培ったノウハウはだから明日から現場で活用可能！

【講師プロフィール】

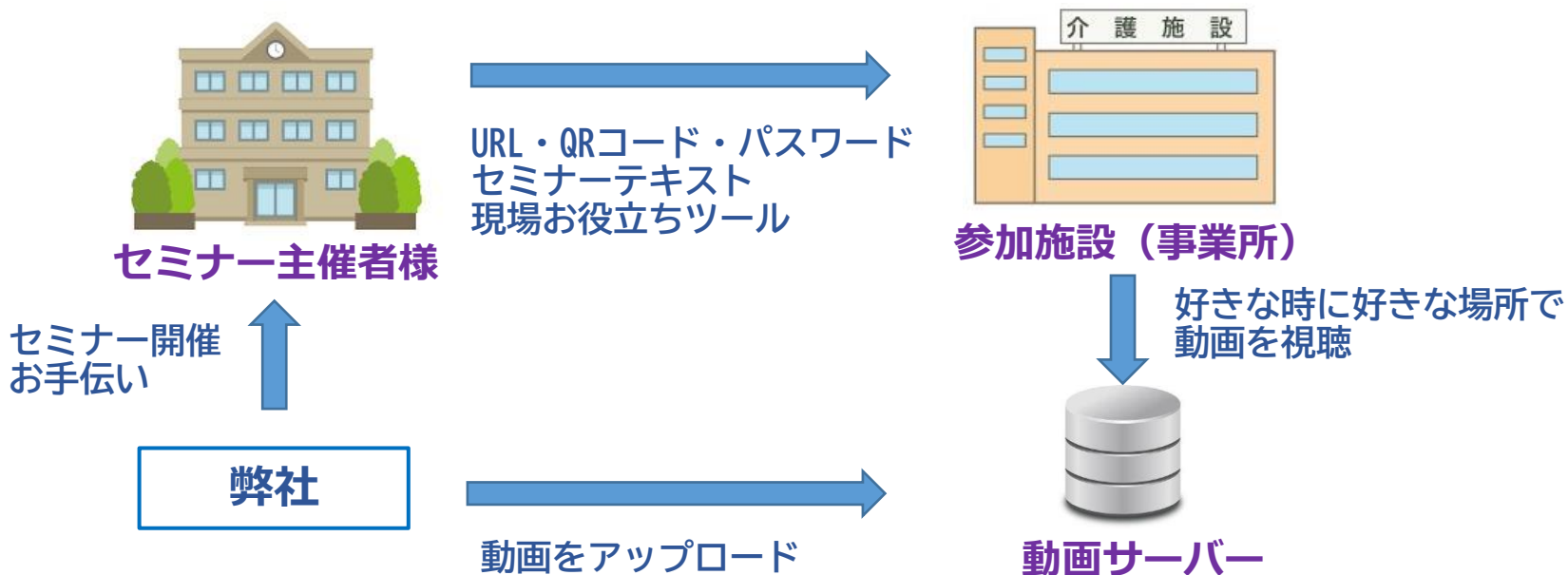
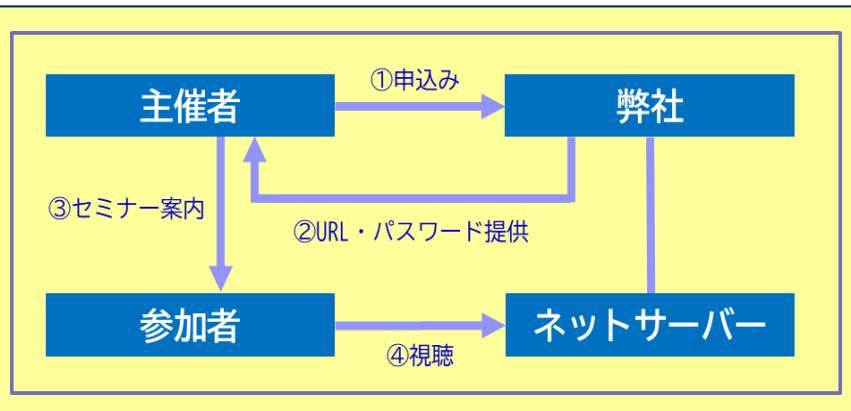
山田 滋（やまだ しげる）株式会社安全な介護 代表取締役

大学卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。支店勤務の後2000年4月より介護事業者のリスクマネジメント企画立案に携わる。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。

高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

動画セミナーの概要

- ①主催者は開催期間を決めて申し込みをします。
 - ②セミナーURLとパスワードを主催者に提供いたします。
 - ③参加者にURLとパスワードを案内します。
 - ④参加者は開催期間内に動画を視聴します。
- ※開催期間は1カ月～3カ月とします。



動画セミナーの価格

動画セミナーの価格は主催者によって異なります。

主催者区分	視聴期間	価格
介護事業者団体	1カ月	5万円
	2カ月	6万円
	3カ月	7万円
介護事業法人	1カ月	4万円
	2カ月	5万円
	3カ月	6万円
セミナー会社	要相談	要相談

※主催者区分

- ・介護事業者団体：団体が事業者に対してセミナーを開催する場合
- ・介護事業法人：介護事業者が自らの従業員に研修を行う場合

動画セミナーの実施手順

1. セミナー申し込み【主催者様→弊社】

- 申込時に決めていただくこと
 - ・ セミナーのテーマ
 - ・ 開催開始日
 - ・ 開催期間（1ヶ月～3ヶ月）など

株式会社安全な介護 行
 FAX 03-6985-1776
 mail:rouden@nanascha.co.jp

介護リスクマネジメント・動画セミナー申込書

申込日	2020年5月10日	6月1日であれば6/1と半角でご記入ください			
主催者	名称	社会福祉法人〇〇県社会福祉協議会			
	所在地	〒 171-0021	豊島区西池袋5丁目26-15 久保田ビル2F		
	主催者担当者	氏名	山田 滋 〒470以上 a-yamada@senzei-kaigo.com		
		連絡先TEL	TEL.03-5995-2225		
申込内容	セミナータイトル	高齢者施設のリスクマネジメント			
	主催者区分	介護事業者団体	<input type="radio"/>		
		介護事業法人	<input type="radio"/>		
		セミナー事業者	<input type="radio"/>		
	配信開始日	2020年6月1日	申込日の10日後以降に設定して下さい		
配信期間	1ヶ月	<input type="radio"/>	いずれかにご記入ください		
	2ヶ月	<input type="radio"/>			
	3ヶ月	<input type="radio"/>			
視聴料（税別）	80,000	ご確認いただきましたら〇をご記入ください			
請求関係	請求書送付先	主催者と同じ	<input type="radio"/>	主催者と同じ場合は〇を主催者以外の場合は下記にご記入ください	
	(主催者以外)	名称			
		所在地	〒		
		担当者			

【株式会社安全な介護 記入欄】

受付№		受付日		受付者	
講師名		集約日		資料	
備考					

2. 「動画セミナー事務手続きのご案内」を送付【弊社→主催者様】

● 動画セミナー開催の準備を始めて下さい。

■動画セミナー参加者の募集

動画セミナー参加者の募集をして下さい。案内状の見本やチラシを提供いたします。

■動画セミナー配信方法をお知らせします

「動画セミナー配信方法通知書」をメールで送付いたします。通知書には、動画にアクセスする際のURLとパスワードとQRコードが載っていますので、セミナー参加者（視聴者）にご案内ください。参加者向け視聴方法の案内文の見本を添付いたしますのでご活用ください。

■テキストと付属資料の送付

配信方法の通知書と同時に、セミナーテキスト（手持ち資料）と付属資料（現場作成のお役立ちツール）を送付いたしますので、参加者のみなさまにご配布ください。

■視聴期限

本動画セミナー配信は、セミナーの開催期限を過ぎると視聴できなくなりますので、必ず視聴者に期限を通知して下さい。

■動画セミナーの料金の請求

セミナー申し込み月の翌月月初に請求書を送付させていただきますので、翌月末までに指定口座にお振込み下さい。

3. 「動画セミナー参加募集案内」を送付【主催者様→参加者】

- 募集案内文の見本を提供しますので、募集案内を作成の上、募集チラシと一緒にご案内下さい。

セミナー募集案内見本

2020年度 リスクマネジメント研修《動画配信版》開催要綱

1 趣 意

福祉・介護現場における事故防止への取り組みと事故発生時の対応を学ぶことで、事故を減らし、資質向上を図ることを目的に開催します。

本研修では、高齢者施設の感染症対策と新型コロナウイルス感染症の対策について学びます。ウイルスの特性や感染経路などの基本知識から、新型コロナウイルス感染症対策におけるクラスター対策や重篤化対策について現場の取組を踏まえてご紹介します。また、手持ちテキストや介護現場作成のオリジナルツールなども提供いたします。

2 主 催 社会福祉法人 ○○県社会福祉協議会

3 対 象 福祉・介護の業務に従事している職員または、管理・運営責任者等

4 受講方法

期 間	受 講 方 法
6月21日(日) ～7月20日(月)	動画視聴に必要な専用URLをお伝えします。 受講者は、左記期間中いつでも動画を視聴することができます。 また、講師が作成したスライド資料も併せて提供いたします。

- ・動画視聴にかかる環境（機器、ネットワーク等）は、受講者側でご準備をお願いします。
- ・ネットワーク環境については、Wi-Fiなど動画視聴に適した状態をお勧めします。

5 プログラム・内容

テ ー マ	内 容	配 送 時 間
高齢者施設の感染症対策	感染症の基本知識、感染症対策 等 ※新型コロナウイルス感染症を含む	約 50 分

6 講 師 山田 滋（やまだ しげる）氏 株式会社安全な介護 代表取締役
大学卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。支店勤務の後 2000年4月より介護事業者のリスクマネジメント企画立案に携わる。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損害保険を退社。2014年4月より現職。
高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

7 受 講 料 1施設2,000円
※本会よりご案内する「受講決定通知」内記載の本会指定口座あてに期限までに入金ください。

8 申込方法
○○県社会福祉協議会システムより必要事項を入力し、○月○日までに申し込み下さい。
なお、従来の紙による申し込みの場合は、別紙申込書に必要事項を記入し、下記まで FAX ください。

9 申込み・問い合わせ先
社会福祉法人、○○県社会福祉協議会 福祉人材研修センター

動画セミナー募集案内見本

会員のみなさまへ

○○県老人福祉施設協議会

リスクマネジメント研修《動画セミナー》のご案内

「高齢者施設の感染症対策(新型コロナウイルス感染症対策)」

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の運営にご協力をお願い厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員向けの研修も開催が困難になっておりこの状況は長期化することが予想されます。そこで、当協会では動画配信による研修を提供することとしました。インターネットに接続されたパソコンとプロジェクターがあれば、施設内で何度でも上映して研修会を開くことができますから、大変便利な研修形態です。今回の動画セミナーのテーマは、施設にとって最も重要な課題である感染症対策(新型コロナウイルス感染症対策)としました。下記募集要項をご一読の上、多数のご参加(視聴)をお願い申し上げます。

敬具

動画セミナー実施要項

○開催(視聴)期間:2020年6月21日～7月20日(期間を過ぎると視聴できなくなります)

○テーマ:「高齢者施設の感染症対策(新型コロナウイルス感染症対策)」[視聴時間 47分]

○参加費:1施設3,000円(当協会宛お振込み下さい)

○申込方法:6月15日までに参加費をお振込みの上、申込書をFAXかメールで送付して下さい。
セミナーテキストなどはメールで送付しますので、申込書にメールアドレスを必ずご記入下さい。

○動画の視聴:試聴ご希望の方はパソコンのURLまたはQRコードでご視聴ください。

○セミナーテキスト:セミナーの手持ち資料(テキスト)をメールで送付いたします。

○お役立ち資料:セミナーの中で紹介される資料をテキストと共にメールで配布いたします。

■セミナー参加(視聴)方法
参加申込書と参加費の振り込みを確認後、当協会より動画のURLとQRコードが記載された、「動画セミナー視聴方法通知書」を送付いたします。インターネットが接続されたパソコンをテレビやプロジェクターに接続して動画を視聴して下さい。動画の視聴方法など不明な点がありましたら、「安全な介護ヘルプデスク」にお問い合わせ下さい。

●講師プロフィール 山田 滋（やまだ しげる）氏 株式会社安全な介護 代表取締役
大学卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。支店勤務の後インターリスク総研主席コンサルタントを経て2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

問い合わせ先
○○県老人福祉施設協議会 事務局 担当 TEL:

4. 参加者向け「視聴方法のご案内」 「テキスト」送付【弊社→主催者様】

● 申し込みの1週間後を目途に、次の資料を送付しますので、参加申し込みのあった参加者様に送付して下さい。

①試聴方法のご案内（URL・QRコード・パスワードを記載）

②セミナーテキスト

③介護現場のお役立ちツール

※主催者から参加者に送付する「動画セミナー視聴方法のご案内」は見本を参考に作成して下さい。

社会福祉法人 _____ 協議会様

動画セミナー視聴方法通知

お申込みいただきました介護リスクマネジメント動画セミナーの、視聴の準備が整いましたので、下記の通りご案内させていただきます。参加者のみなさまにご案内をお願いいたします。

記

○セミナーテーマ 高齢者施設の感染症対策（新型コロナウイルス感染症対策）

○視聴期間 6月21日から1ヶ月間

○視聴方法

①パソコンで視聴される場合は下記のURLからアクセスして下さい。

②パスワード

③スマホで視聴される場合はQRコードを読み込んで下さい。

● 参加者向け「視聴方法のご案内」見本

「参加者向け視聴方法のご案内」見本

会員のみならずへ

〇〇県〇〇協会

動画セミナー視聴方法のご案内

この度は〇〇県〇〇協会主催の動画セミナーに申し込みをいただき、大変ありがとうございました。下記の通り動画の視聴方法についてご案内させていただきます。施設内での集合研修や、自宅学習などにお役立てください。

■動画セミナーをパソコンで視聴される場合
次のURL でアクセスしてご覧ください。
動画セミナーのURL : XXXXXXXXXX
※上記 URL 上にカーソルをクリックすれば自動的に動画にアクセスできます。アクセスできない場合は、Ctrl ボタンを押しながらクリックして下さい。
■動画セミナーをスマホで視聴される場合
次のQRコードをスマホで読み込んで動画にアクセスして下さい。

XXXXXXXXXX

※スマホのカメラをQRコードに向けると自動的に読み取り機能が起動します。

■セミナーテキスト
セミナーテキスト（手持ち資料）を送付いたしますので、視聴される職員にプリントとして配布して下さい。

■セミナー付属資料介観現場作成のツール
家族向けの案内文など介観現場で作成された知恵と工夫のお役立ちツールを送付しますので、現場の活動にお役立てください。

■視聴期限
本セミナーの視聴期限は〇月〇日ですので、期限内に視聴されるようお願いいたします。

■視聴制限
本セミナーは参加申し込みをいただいた事業者の職員であれば、誰でも視聴できますし何度視聴されても構いません。他の事業者や他人にはURLを教えないようにして下さい。

● 参加者は、視聴期間内であれば、いつでも、好きな時間での視聴が可能です。



現場作成お役立ちツールの例 (高齢者施設のリスクマネジメント)

講師の山田が現場の取組で介護職員と共に作ったツールを提供

● 「家族への事故防止の協力依頼」 チラシ

私たち介護職員は、入居者様の転倒防止に取り組んでいます
ご家族のみなさまもご協力をお願いします

ひとりでトイレに行って転倒するケース
 施設内の転倒事故で多発しているのがひとりでトイレに行こうとして転倒するケースです。特に夜間や早朝は完全に覚醒していないため転倒しやすくなります。
 トイレに行く時はナースコールで介護職員を呼んでいただくようお願いしています。転倒の危険の少ないポータブルトイレやトイレの使用もお勧めします。

ご家族様へのおお願い
 介護職員に対する迷惑からご自分でトイレに行こうとする入居者様がいっぱいいますので、ご家族から遠慮しないで介護職員を呼ぶようにお願いします。

入所後間もない時期に転倒するケース
 入所したばかりの時期は、施設の環境に慣れないため転倒の危険が高くなります。また、居室との生活環境の急激な変化から転倒が多くなる入居者も居られます。
 どなたでも慣れない環境では事故の危険が高くなりますが、認知症の入居者様は環境変化に対応できずに転倒します。入所当初は歩行できる入居者様にも付き添いなどをさせていただきます。

ご家族様へのおお願い
 入所されてしばらくは、ご家族からも歩行やベッド上の動作に対して注意を喚起して下さい。また、自宅で安全に歩行できた方でもしばらくの間は介護されるようお願い下さい。

認知症のある入居者様のケース
 認知症や健忘のある入居者様は、ご自分の転倒の危険を忘れてひとりで歩いて転倒してしまいます。防止することが最も難しいケースです。
 ベッド上の動作を知らせる“センサーコール”を設置して、介護職員が備室に急行させていただきます。また、大腿骨の保護パッドが付いた下着などの着用をお勧めしています。

ご家族様へのおお願い
 認知症や健忘があり転倒などの危険を忘れてしまう入居者様には、ご家族のご協力が必要です。転倒防止と同時に転倒した時のケガの防止についてもご協力下さい。

歩行補助具を使用して転倒するケース
 杖や歩行器など歩行に補助具を使用しても、必ず転倒を防げる訳ではありません。補助具を適正に補助具ごと転倒するケースも多いです。
 歩行補助具を過信せず移動をする時には、介護職員に声をかけていただくようお願いしています。また、補助具が入居者様に合わない場合は専門家が調整させていただきます。

ご家族様へのおお願い
 歩行補助具があっても転倒する危険が高いことをご家族から入居者様へお話し下さい。歩行補助具を使用しても転倒するケースなど、用具に問題がある場合は、お気軽にご相談ください。

服薬の影響で転倒するケース
 糖尿病や高血圧症などの病気の薬が原因で転倒しやすくなったり、精神安定剤や睡眠薬もふらつきが出て転倒につながる場合があります。
 転倒の原因となりやすい薬を服用されている場合は、入院時にご相談させていただきます。ご家族様へもお知らせいただくこともあります。

ご家族様へのおお願い
 転倒の危険が高くなる薬を服用された場合は、ご相談させていただきます。また、服薬の影響が出やすい時間帯などには、ご家族様から注意を促して下さい。

ベッドからの立ち上がりで転倒するケース
 入居者様のベッドは高さが変えられるものがあります。ベッドから立ち上がろうとした時、ベッドの高さが高すぎても低すぎても転倒の原因となります。
 ケアのためにベッドの高さを変えた時には、入居者様に合った高さに戻すようにしています。また、車椅子への移乗などの前にも立ち上がりにくい高さであるか確認をしています。

ご家族様へのおお願い
 ベッドからの立ち上がり時の転倒を防ぐため、寝たままでもベッドの高さにご注意をお願いします。また、退室時にベッドの高さを変えた時は、必ず元の位置に戻して下さい。

● 転倒リスクアセスメントシート

転倒リスクアセスメントシート
 ■スコアは該当すればその点数を、該当しなければ0点を記入してください

分類	特徴	スコア	計値			
			月	日	月	日
年齢	65歳以上である。	2				
既往歴	転倒・転落したことがある。 平衡感覚障害がある。	2				
感覚	視力障害がある。 聴力障害がある。	1				
運動機能障害	足腰の痛み、筋力低下がある。 四肢のどれかに麻痺がある。 しびれ感がある。	3				
運動領域	歩行や歩行の音・関節異常がある。 自立歩行ができるが、ふらつきがある。 車椅子・杖・歩行器・ストレッチャー・リクライニング車椅子を使用している。	3				
	自由に動ける。	2				
記憶力	移動に必要な道具、物忘れの状態であるが、手戻は助かせる。 認知症がある。	1				
	不確実行動がある。 判断力、理解力、記憶力の低下がある。 異常な健忘、意識障害がある。	4				
薬剤	降圧薬、抗不安薬、抗うつ薬、抗精神障害薬、抗がん剤、抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬、薬物療法、日積薬以上の薬を服用 降圧剤、血糖降下剤、降脂降糖治療薬、鎮痛剤、利尿薬	2				
排泄	安・便失禁がある。 頻尿 トイレまで距離がある。 夜間、トイレに行くことが多い。 ポータブルトイレを使用している。 車椅子トイレを使用している。 膀胱留置カテーテルを使用している。 排尿には介助が必要である。	3				
	尿失禁がある。 便失禁がある。	1				
病状	リハビリの開始時期、訓練中である。 認知症やADLが急に回復・悪化している状態である。	2				
本人の特徴	ナースコールを押さないで行動しがちである。 ナースコールを認識できない。 行動が落ち着かない。 回数も自分でやろうとする。	4				
	環境変化(転入所・シフト初回利用)が大きい	3				
危険度評価	危険度1:1~9点 転倒・転落の恐れがある。 危険度2:10~19点 転倒・転落を起こしやすい 危険度3:20点以上 転倒・転落をよく起こす	合計 危険度				

■最近の転倒事故(ヒヤリハット)の情報を掲載(家族情報などから、転倒場面や時間など具体的に)

介護リスクマネジメント・動画セミナー の開催に関するお問い合わせは

【動画セミナーに関するお問い合わせ】

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp

TEL:03-5995-2275

〒171-0021 豊島区西池袋5丁目26-15 久保田ビル2F

ホームページ：<http://www.anzen-kaigo.com/>